



「四日市って、いいね」

～選ばれるまちを目指して～

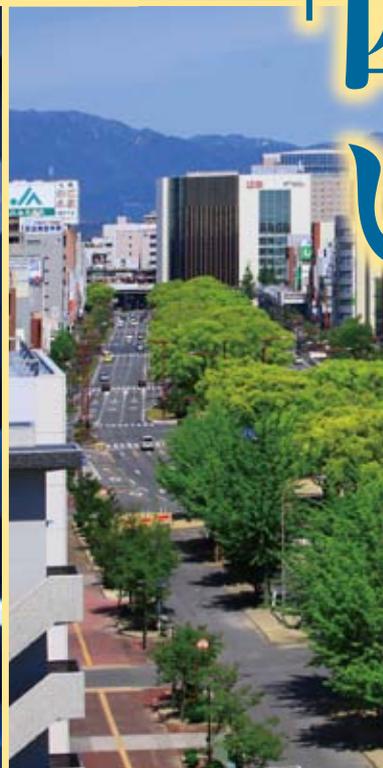
皆さんは四日市が好きですか。

「愛着がある」「誇りを持っている」という人もいれば、「あまり考えたことがない」「仕事の都合で引っ越して来ただけ」という人もいるかもしれません。

好きな人にはもっと好きになってもらいたい、好きでない人には好きになってもらいたい、そして市外の人にも伝えてほしい。

本市は、市民の皆さんと共に、市の魅力を創造し、磨き上げ、広く発信していきたいと考えています。

本市が市内外の人に選ばれるまちになり、今後も発展を続けていくためには何が必要か、一緒に考えてみませんか。



な

ぜ「選ばれるまち」になる必要があるのかな？

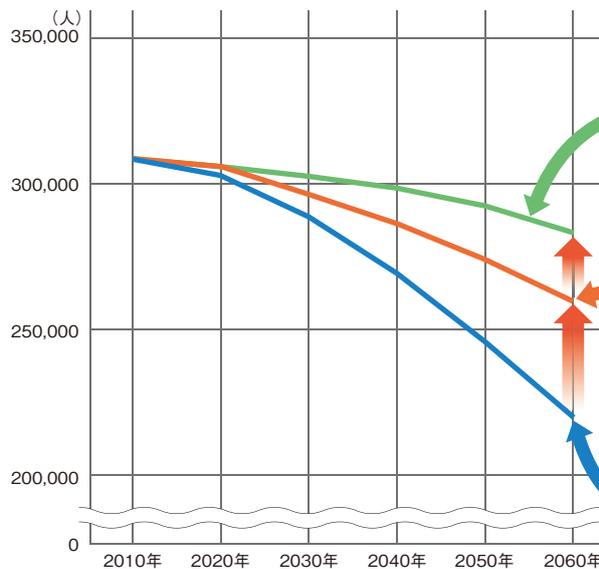
人口を増やす取り組みが必要

全国的に人口減少・少子高齢化が進んでおり、本市も例外ではありません。

人口減少は、経済やまちの活力の衰退につながる可能性があることから、国では、出生率の改善を図る取り組みを進めようとしています。

本市では、産業振興による雇用の場の確保や子どもを産み、育てやすい環境づくりを進めるとともに、本市の魅力や住みやすさを広く情報発信することによって、人口増を目指しています。

■四日市市の人口の見通し



ここを目指します

四日市市の目標

国の想定に社会増(※)を上乗せ
2060年 **28万人**

※人口増加には、出生数と死亡数の差による「自然増」と、人口流入数と流出数の差による「社会増」があります

国の想定(出生率の改善)を適用した場合

2060年 **26万人**

このまま減少した場合

2060年 **22万人**

(国立社会保障・人口問題研究所のデータに基づく人口推計)

本市への人の流れをつくる

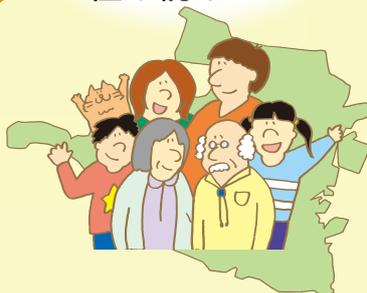
現在、「ひと」や「しごと」が東京を中心とした首都圏に集中する傾向にあります。地方の衰退を防ぐため、その流れを是正し、地方に分散する必要性が指摘されています。

本市が継続的に発展していくためには、厳しい都市間競争に打ち勝って、「選ばれるまち」として、本市への人の流れをつくっていく必要があるのです。

こんなふうに
思ってもらえるように
なりたいな！

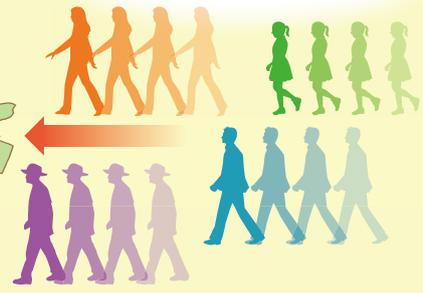


良いまちだから
住み続けたい



市民の皆さん

良さそうなまちだから
行ってみたい・住んでみたい



市外の人たち

と

ころで、四日市の「魅力」や「強み」って何だろう？

昨年実施した市政アンケートで、本市の魅力について伺ったところ、「自然」「住みやすさ」「立地・交通・インフラ」「産業」「歴史・文化・伝統」などのご意見をいただきました。

市外の人にとっては、「コンビナート」や「公害」のイメージが強い本市ですが、鈴鹿山脈や伊勢湾、里山や茶畑など、豊かな自然に恵まれ、産業の発展と環境改善の両立を図るまちづくりも本市の大きな「強み」です。

本市は、「日本の真ん中」という立地条件や四日市港の存在、道路交通網の充実など、恵まれた環境にあります。そうした背景の中で、多くの人を雇用する多様な産業が集積し、全国屈指の産業都市として発展してきました。

工場夜景や世界最新鋭のプラネタリウム、ユニークな全国規模の音楽コンクールなど、新たな文化的魅力も含めて、総合的な「住みやすさ」につながっているのではないのでしょうか。

優

位性をさらに伸ばし、まちに活力を！

本市では、多様な産業集積や都市的な魅力を十分活用し、優位性をさらに伸ばすことで人口減少傾向に歯止めをかけ、交流人口の増加、ひいては定住人口の増加につなげる取り組みを、「地方創生総合戦略(四日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略)」としてまとめました。

この戦略では、4つの基本目標を設定しています(下図)。戦略に基づいた具体的な取り組みは、今年度の「広報よっかいち」上旬号の「四日市PLUS」のページで紹介していきます。(3回を予定し、1回目は今月号8ページに掲載)



効

果的なシティプロモーションが必要!

条例を制定

地方創生総合戦略の「基本目標4 四日市の魅力を磨き、交流人口を増やす」ためには、本市の魅力を市内外に効果的にPRしていくことも必要です。

そこで、市民の皆さんが本市の魅力を知り、自分のまちを誇らしく思っていたくとも、その魅力を広く発信し、都市イメージを高めていくことを目的として、「**四日市市観光・シティプロモーション条例**」を制定しました。

シティプロモーションとは?

City(都市)+Promotion(推進・奨励)

一般的に、観光の振興、住民の愛着心の形成、自治体の知名度向上など、多様な意味や目的をもって使用される言葉です。

本市のこの条例では、シティプロモーションを「地域資源に対する市民等の誇りの醸成を基礎として、地域の魅力を創造し、磨き上げ、発信することによって、都市イメージの向上を図る活動」と定義しています。

条例の主な特徴を紹介するよ!



- 「市の責務」とともに、「市民の皆さんや事業者などの役割」も明記したよ。地域の資源(自然・文化・産業・特産品など)を利活用して、**来訪者に温かいおもてなしの心**で接したり、**魅力の創造・発信の役割**を果たしたりしてもらいたいんだ!
- 萬古焼、お茶、地酒など、**地場産品の利活用**をしっかりと推進するよ!
- 市民の皆さんの「**誇り**」や「**おもてなしの心**」を育んでいくために、情報を提供して、一緒に取り組んでいくよ!

具体的には何をやるの?

条例の目的を達成していくため、平成28年度から32年度の5年間を計画期間とする、「**四日市市観光・シティプロモーション戦略**」を策定しました。この戦略に基づき、さまざまな施策を推進します。

[取り組みの例]



地場産品の交流の場での利用や、贈答としての利用を推奨します



東京などの大都市圏でイベントを開催し、注目度を高めます



無料で利用できる公衆Wi-Fiや、デジタルサイネージ(電子看板)を中心に市街地に整備するなど、情報発信の手段を充実させます



ドラマ仕立てで本市の魅力を発信します
シティプロモーション映像「四日市物語」



皆

さんもできます! シティプロモーション!

「シティプロモーション」と聞くと、難しいイメージがあるかもしれませんが、要は、「自分の住んでいるまちを好きになって、周りの人たちにも教えてあげる」ということです。

四日市の魅力や強み、良いところを知って、友人や知人、親戚の人などに教えてあげただけませんか。皆さん一人ひとりが情報を発信していただくことで、大きな効果につながります。





ティプロモーションの心強い協力者「観光大使」

(平成28年1月1日現在)

本市では、知名度向上と観光振興、魅力のPRを図ることを目的として、「観光大使」の制度を設けています。さまざまな分野で活躍されている、本市にゆかりの深い人たちに就任をお願いし、各観光大使が独自のPR活動を展開されています。

例えば、それぞれのブログやテレビ・雑誌でのインタビュー、コンサート、講演会などの機会を捉えて、本市の魅力を発信していただいています。



落語家
桂福團治さん

落語で四日市の情景を入れた人情話がしたい



お笑い芸人
ザブングル 加藤歩さん

自分の知らない四日市の良さもPRしたい



プロゴルファー
川村昌弘さん

プロゴルファーに四日市とんてきや永餅を紹介しています



映画監督
瀬木直貴さん

映画を撮り続けていくことで、四日市に貢献したい



シンガーソングライター
Ms. OOJAさん

音楽フェスティバル「OOJAフェス」を四日市で開催したい



美容家
伊東香緒さん

食文化に触れて新たな四日市の食を発見したい



名古屋グランパスGM兼監督
小倉隆史さん

自分にできることで四日市に貢献したい



タレント
加藤ゆりさん

四日市の歴史を学んでPRしたい



DeNAランニングクラブ
総監督 瀬古利彦さん

マラソン人生の基礎となった四日市に感謝の気持ちでお力になりたい



ミュージシャン
マック中原さん

唯一地元在住の大使として、地元密着で面白いことを発信したい



小説家
伊吹有喜さん

萬古焼、冷麦と素麺、お茶、伏流水の美しさなど多彩な魅力をお伝えしたい



漫画家
現代洋子さん

生まれ育った四日市の魅力をアピールしていきたい



お笑い芸人
ニッチェ 近藤くみこさん

たくさんの人に四日市の良さを知っていただきたい



バイオリニスト
花井悠希さん

学生時代を過ごした四日市に少しでも恩返しできるように頑張りたい



元プロテニスプレーヤー
福井烈さん

スポーツの力で四日市から日本中に元気を届けたい



いろいろなイベントに、ご参加いただいています

観光大使の皆さんは、「大四日市まつり」や「消防出初式」などに参加してくれたり、首都圏などでのシティプロモーションイベントに駆けつけてくれたりしているよ！
本市のプロモーション映像「四日市物語」の主題歌は、Ms.OOJAさんが本市のために書き下ろしてくれた曲なんだよ！もう聴いてくれたかな？

四日市物語



You Tubeで配信中



映

画やドラマで四日市をPR!

「よっかいちフィルムコミッション」



「よっかいちフィルムコミッション」とは?

映画やテレビなどのロケを誘致して、本市の経済・観光振興や地域活性化を目指す組織で、四日市観光協会・四日市商工会議所・市などで構成されています。

映画やテレビドラマのロケを通じた本市の映像紹介は、本市の見どころの再発見や全国的な都市イメージの向上に大きく寄与するものです。ここ数年、四日市港を中心に非常にロケが増えています。

どんなことをしているの?

「作品のイメージに合った景観の調査」「撮影に関する各方面との調整・許認可手続き」「ロケに必要な宿泊施設や飲食店の紹介」「エキストラ募集」など、映像制作者のニーズに適切に対応していくことで、本市を映像制作の現場に選んでいただけるよう取り組んでいます。



主な映像制作の支援実績

- ・ドラマ「マザーズ」(中京テレビ)(H26.10)
- ・映画「寄生獣」(H26.11)
- ・映画「チョコリエッタ」(H27.1)
- ・映画「劇場版MOZU」(H27.11)
- ・映画「さらば あぶない刑事」(H28.1)



「寄生獣」のロケ



「劇場版MOZU」のロケ

四

日市を語るならココ!「そらんぼ四日市」



「そらんぼ四日市」の外観

平成27年3月に「四日市公害と環境未来館」がオープンし、同時に「博物館・プラネタリウム」がリニューアルされました。この3つの施設の総称が「そらんぼ四日市」です。オープン以来、市民の皆さんをはじめ、市外・県外・海外から大勢の人に訪れていただいています。

産業と環境、歴史や文化、宇宙や科学など、本市を語る上で不可欠な情報を発信する、本市のシンボリックな施設です。

とりわけ「四日市公害と環境未来館」は、公害の歴史や教訓を伝えるだけでなく、きれいな空気や青空を取り戻した歩みを紹介することで、「公害のまち」から「環境改善のモデル都市」へと都市イメージを転換していく役割も担っています。また、プラネタリウムは、世界最新鋭の設備を誇り、本市の新しい魅力となっています。

工夫を凝らした展示や催しでお迎えます



今回の特集では、シティプロモーションの必要性や、本市の取り組みを紹介してきました。来年、市制施行120周年を迎える本市には、長い歴史の中で築き上げてきた、さまざまな魅力や地域資源があります。これらをさらに磨き、新たな魅力も創造しながら、力を合わせて四日市の未来を切り拓いていきましょう。

●この特集についてのお問い合わせ・ご意見は

政策推進課 ☎354-8112 FAX 354-3974

観光・シティプロモーション課 ☎354-8286 FAX 354-8307

広報広聴課 ☎354-8244 FAX 354-3974